

高知盲新聞



発行所
高知県立盲学校
高知市大膳町 6-32
TEL 088-823-8721
mo-s@kochinet.ed.jp



令和五年度 始まる

長い長いコロナ禍もやっと普段の日常生活を取り戻せる兆しが見えてきました。感染者が0（ゼロ）になる日はまだ当分先ですが、光が見え始めたのも事実です。盲学校の賑わいも少しずつ前に向かって歩み始めましたので、様子をお伝えします。今年度は児童・生徒18名、教職員50名（会計年度職員を除く）でスタートしました。

また、今年度は、新たに校長、教頭が着任いたしました。

【校長 中野 直喜】

5年間、教頭としてお世話になった盲学校へ、校長としてこの4月に着任いたしました中野直喜と申します。どうぞよろしくお願いたします。

さて、本校では「チーム高知盲、100年目に向けて着実に歩みを進めよう！」「高めよう専門性、広げよう地域・社会に」を合言葉に、夢に向かって「自ら学び」「社会とつながり」「たくましくあゆむ」生きる力を育てることを教育目標に掲げ、児童生徒の皆さん、ご家族の皆さんの夢や希望に沿えるよう教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には引き続き本校の教育活動に温かいご支援とご協力をただけますようよろしくお願いいたします。

【教頭 丸山 則昭】

19年間、理療科教員としてお世話になった後、一年ぶりに高知若草特別支援学校より盲学校に戻ってきました。

今年度からは新たな仕事にチャレンジします。地域の皆様には、新米として色々ご迷惑をおかけすることと思いますが、どうぞよろしくご願申し上げます。

一学期の様子（全部載せられず残念！）

【4月】

「入学式・始業式」

今年度は、高等部本科普通科1名、本科保健理療科1名、専攻科理療科2名の合計4名が、新しく仲間入りしました。新入生の中には、社会人を経験し、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得を目指す方もおられ、決意を新たにした一日となりました。

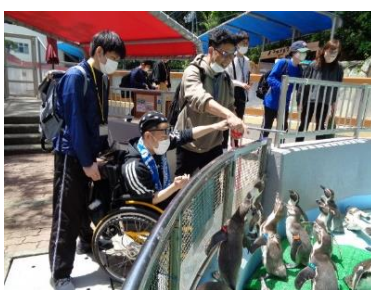


在校生代表歓迎のことば



「中学部・高等部と小学部5年生で行く 新入生歓迎遠足（桂浜・水族館）」

毎年、恒例の中・高等部新入生歓迎遠足。今年は小学部5年生を加えたメンバーで桂浜と水族館に出かけてきました。特に桂浜は観光施設がリニューアルオープンしたとニュースでも話題の場所。子どもたちばかりでなく、引率の教職員も興味津々。また、お昼はリニューアルした観光施設で自由にランチタイムもちろん学校の遠足ですから決められたお小遣いの範囲内でメニューを選ぶのがルール。食べたものとお小遣いの綱引きに授業より真剣に考えこんでいたとか、いなかったとか？



【5月・6月】

「中国・四国地区盲学校PTA連合会・ 校長会（高知大会）」

毎年、中国・四国地区盲学校PTAの代表の保護者の方々が集まり、学校と協力して様々な課題に一致団結して取り組むための研修会が開催されます。今年度は高知県が当番校となり、高知会館と盲学校を会場として、2日間には情報交換会が行われ、みんなできいをひとつになつて踊りました。どの学校も児童・生徒数が減少し、PTA活動だけでなく、学校行事や保護者同士のつながりにも大きな影響が生じています。各校が現状を分析し、他校の取り組みを参考にしながら知恵を絞らなければなりません。

また、2日目は防災アドバイザーの湯井恵美子先生を講師に招き、南海トラフ地震に備え、障害をもつ子どもたちの保護者が備えるべき防災意識について学びました。

どちらもすぐには答えが出せないかもしれませんが、大事な課題。一人でも多くの方のご理解が大切です。老若男女を問わず、地域の皆様と一緒に取り組んでいければ、どんなに素敵なことでしょう。

今年度の目標 「防災に強い学校になる」



「第25回高知県障害者スポーツ大会」

5月28日（日）高知市の春野運動公園を会場に行われました。本校からは高等部の3名の生徒が陸上競技及び水泳競技に出場し、優秀な成績を収めました。この中から秋に開催される全国障害者スポーツ大会（かごしま大会）に高知県代表選手として選出された生徒もいます。全国大会でのさらなる活躍を期待しています。

（大会成績については、個人を特定される恐れがあるので今回は掲載していません。ご理解のほどお願い申し上げます。）

「寄宿舎生 舎外活動に行ってきました！」

前日までの雨がウソのように上がった5月15日の下校後、寄宿舎生全員で帯屋町に遊びに出かけました。寄宿舎全体としてのお出かけはおよそ4年ぶりでした。当日はアイスクリーム店で好きなアイスを味わったり、アニメショップやゲームセンターでそれぞれが好きなことを楽しみました。寄宿舎生にとってもテスト期間前のちよとした息抜きになったようです。



「高等部普通科社会見学・ 宿泊学習（高知龍馬空港・高知警察署）」

修学旅行の事前学習や地域の公共施設を調べ、実際に訪問や体験を通じて、役割を学びました。高知龍馬空港は、秋に予定されている修学旅行で実際に利用する施設です。日頃は、飛行機の搭乗手続きなど大人にお任せだったことを自分たちの力で上手に伝えることができました。また、高知警察署では優しく、頼もしいお巡りさんから防犯知識を学んだり、署内の武道場を見学しました。



「高知ジビエカレー給食」

毎月19日は食育の日です。これに合わせ毎月19日は高知の食べもののいっっぱいの日と定め、高知県産の食材をたくさん使った給食を提供しております。

6月は、高知市鏡地区で狩猟されたイノシシ肉と高知の野菜をつかった高知ジビエカレーでした。このカレーは「現代の名工」である島田和幸シェフに事前にレシピを見てもらい、イノシシ肉の調理方法などのアドバイスをいただきました。また、当日はシェフによるジビエに関する食育講話と保護者対象の給食試食会も同時開催いたしました。

島田シェフのアドバイスのおかげで、カレーは肉の臭みや固さもありませんでした。みんな美味しいと好評で残食も100gと少なかったです。



「移動化石博物館がやってきた！」

北海道在住の古野（ふるの）様のご厚意で珍しい化石の観察体験やアイヌの伝統文化を体験することができました。



「お友達誕生日をみんなで
お祝いしよう！」

学年はそれぞれ違うけれど、みんな仲良し小学部。いつも廊下を通ると賑やかな声が聞こえてきます。上級生ともなると個別に授業をしている時間も多くなってきましたが、お友達の年に一回の大切な時間となれば、話は別です。みんな一致団結し、全力で盛り上げてみせます。そんな暖かさに包まれた素敵なお誕生日会でした。改めて「お誕生日おめでとうございます！」



「いっぱいオクラが育ったよ」

学校の畑に植えているオクラが育ってきています。

普通科3年生が梅雨の晴れ間に担任の先生と一緒にオクラを収穫。収穫したオクラは、給食に使ってもらいました。

また、校長先生にもオクラをおすそ分け。校長先生、おいしく食べてください。



【7月】

「中国・四国地区盲学校体育大会兼
全国盲学校フロアバレーボール大会」
中国・四国地区予選会（高知大会）」

本校を会場に中国・四国地区各校（残念ながら島根県は大雨による影響のため、選手の実験を最優先し、参加を辞退）から選手が集い、フロアバレーボール競技、サウンドテニス競技が行われました。本校からはサウンドテニス競技に4名の選手が参加し、健闘しました。教職員も2年前から大会準備を始め、当日は受付など、大会の運営、競技審判など様々な役割に汗を流しました。



「夏だ！プールだ！サップ体験だ！」

今年も相変わらず、暑い日が続いています。子どもたちは、プールの授業がとても大好きなようで、空模様が怪しいと何度も「今日は（プールの）授業はありますか？」と聞いてきます。そんな夏のプールが大好きな子どもたちに体育の先生が素敵なプレゼントを用意してくれました。ヤ・シイパーク（夜須町）でSUP（サップ）体験のインストラクターをされている皆さん招いて、盲学校でも安全に体験できる授業を行いました。チームで競争したり、立ち漕ぎに挑戦したりとみんな暑さを吹き飛ばす素敵な笑顔です！



「寄宿舎で七夕まつりを行いました」

7月7日は七夕！ということで、テスト期間も終了した7月3日月曜日から1週間を、寄宿舎では（勝手に？）七夕週間と名付け、玄関に七夕飾りを用意し、今週いっぱい各々の願い事を短冊に込めて飾っていくようにしました。

また、初日の月曜日は一階プレイルームにカキ氷、ポップコーン、わたがしの出店（ほどもないですが・・・）を準備。担任の先生も立ち寄って下さり、楽しいひと時を過ごすことができました（^）



「キッズ・バリアフリーフェスティバルに
参加しました（理解・啓発活動）」

コロナ禍で対面での会場開催がなかったキッズ・バリアフリーフェスティバルが、久しぶりに、ふくし交流プラザ（高知市朝倉）を会場に7月1日（土）～2日（日）開催されました。盲学校は視覚ブースを担当しました。盲学校で活用している見る力を高めたり、目と手の協応を促すおもちゃ、絵本、視覚補助具、拡大教科書等の展示や見えにくさを理解してもらうコーナーを設け、見たり、触ったり、体験してもらいました。おかげさまで、視覚支援ブースにはフェスティバルの2日間を通じて、子どもから大人まで120名を超える見学者が訪れ、様々な視覚支援機器の体験やコーナー担当の教職員の説明を熱心に聞いていました。



「にこにこ市でSDGs」

毎年恒例のにこにこ市！販売学習を通じて、子どもたちが授業の成果を発表する大人気の行事です。

今年は何かいつもと様子が違う場面が・・・お会計で「買い物袋は持ってきていますか？」と声をかけられました。

教頭先生はうっかり、いつもの調子で出かけていき、マイバックを忘れてしまった様子。振り返ればみんなマイバックを持ってきているではありませんか？

そんなやり取りを見て、子どもたちはもうすっかりSDGsの意味を理解しているようでした。



「子どもの読書活動文部科学大臣表彰」

本校図書室で多くの子どもたちが利用して読書に親しんだ地道な活動が、文部科学大臣から表彰されました。

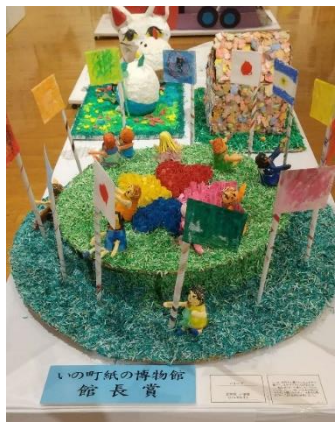
児童・生徒の皆さんが利用しやすい環境をコツコツと整備してくれた図書室の先生の成果でもあります。

これからも読書の輪を広げていきましょう！



「第37回紙とあそぼう作品展」

小学部「ビリーブ」



2年連続の受賞です

編集後記

まだまだ、掲載しきれないぐらいのたくさんの方の活動や授業の取り組みがありました。これも地域の皆様のご理解とご支援のおかげです。これからも地域の皆様とともに歩む盲学校を目指していきます。

次号は夏休み以降の様子をお伝えしたいと思います。これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。